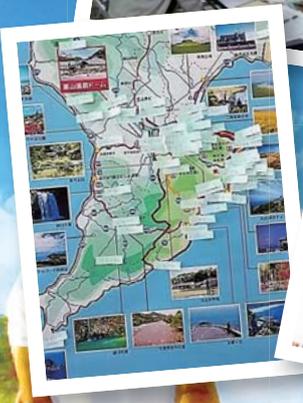


地域を
変える
チカラに

地域
おこし
協力
隊

活動報告



近藤 千恵子さん



園田 欣大さん

新たな年がスタートしました。皆様にとって良い一年となりますようお願いしています。

私の仕事のひとつとして、ANA 総合研究所 (ANA 総研) のネットワークを活かし『肝付町』を全国にアピールする活動があります。月に一度ほど ANA 総研フェイスブックに肝付町の文化や伝統、特産品などについて投稿し紹介しているほか、ただいま大隅半島の魅力的なスポットを集めて『まち歩きMAP』や観光用アプリ『YORIP (よりっぷ)』を作成する取り組みも行っています。

MAP 制作にあたっては、大日本印刷のサポートのもと講師を招きワークショップを開催。肝付町を中心に地元で活躍されている方々にも参加してもらい、情報を収集しました。できあがった MAP は、東京・福岡・鹿児島市内の書店 4 店舗でのプロモーションで配布 (または設置) する予定です。より多くの人に『肝付町』に興味を持ち、魅力を感じ、町を訪れたいと思ってもらえるような MAP にしたいと、タイトルやターゲットにも工夫しています。皆様も完成を楽しみにしていて下さいね。

イプシロン 4 号機、この記事が出る頃には打上げが行われた後だと思います。打上げ時期に内之浦の「宙ハウス」では、クラウドファンディングで寄付いただいた町外の方々をお招きし、交流を行いました。また、1月20日に移住フェアが東京で行われ、肝付町の移住相談を行いました。訪町者や移住検討者が増えてくれるように今後も頑張りたいと思います。

宙ハウスは、移住検討者の希望として多かった短中期の滞在に対応できるように民泊申請を行い受理されました。年度末までにもう少し改修を続けます。最近では ICT クラブでも活用いただき、これからも色々な形で使われるといいなと思っています。

早いもので移住してから約 3 年が経ち、地域おこし協力隊としての任期は今年の 3 月までです。これからも住み続けますので皆様にお世話になることは変わらないのですが、一旦の区切りとして任期後の生活へスムーズに移行できるよう準備を進めていきます。

2019 年は生活作り、体作りを意識して過ごしたいと思います。

皆様も良い 1 年をお過ごしください。